



気高SGH通信

平成28年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

海を素材とするグローバルリテラシー育成

～世界を舞台に活躍するスケールの大きな人材を目指して～

No.31 令和2年5月22日

宮城県気仙沼高等学校

SGH最終年度がスタートしています

～コロナ禍の中の探究活動～

令和2年度は昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響で、5月末まで臨時休校という、これまで経験したことがない困難からのスタートでしたが、本校では、4月下旬から「Classi(クラッシー、タブレット端末等へ宿題や小テストなどを配信する SaaS 型のクラウドサービスです)」を活用した動画配信を全科目で行うこととし、1学年「地域社会研究」と2学年創造類型「課題研究Ⅰ」でも、『Microsoft PowerPoint』でスライドショーを作成し、配信しました。

「地域社会研究」では、「SDGs」と「Society5.0」と「新しい生活様式」から「自分×未来」について考えてもらう講座などを、「課題研究Ⅰ」では、課題研究とは何かや、身に付けたい力と達成するために頑張りたいことについて考えてもらう講座を配信しました。

「SDGs」って何だろう？

SDGsとは、持続可能な開発目標、のこと
= Sustainable Development Goals

「誰一人取り残さない社会」を目指して、多様性と包摂性のある社会の実現を目標とするもの。

2016年から2030年までの国際的な目標として決められた。「貧富の格差」「気候変動への対応」など17分野のゴール(目標)と、その具体的な169のターゲットが設定されている。

世界を良くするために将来の世代と現在の世代・それから開発途上国も先進国も共通して目指すことになった目標



視聴後のアンケートからは、自らの将来や現代における様々な課題について真剣に考え、答える生徒の姿を感じ取ることができ、そのような生徒たちの学ぶ意欲・探究心に応えていきたいと、指導者側にとって気持ちを新たにした動画配信期間となりました。

祝 文部科学大臣賞!!! 全国高校生MY PROJECT AWARD2019



3月末、『全国高校生MY PROJECT AWARD2019』全国Summit(全国高校生マイプロジェクト実行委員会主催、文部科学省・日本ユネスコ国内委員会後援)が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてオンラインで開催され、地区Summitを通過した48プロジェクト、99名の高校生が参加しました。

県代表として本校から『気仙沼クエスト～「内輪受け」が起こす観光革命～』で参加した畠山瑛護くん(参加当時2年、現3-4)と吉城拓馬くん(同、現3-6)は、自作スマホゲーム「気仙沼クエスト」などを通じ、気仙沼の人や地域の魅力を発信することで活性化を図っていこうという取り組みが高く評価され、最高賞の文部科学大臣賞と、参加高校生の投票で選ばれる高校生特別賞をダブル受賞しました。

受賞後、2人はテレビの全国放送や新聞の取材に引っ張りだこですが、「ゲームを通じて気仙沼のファンを作りたい」「地元の人にまず遊んでもらい笑って欲しい」と一層気合いが入った模様です。今後とも応援よろしくお祈いします。

